

国語科学習指導案

1. 日時 平成 25 年 11 月 12 日（火） 第 6 時限 （14：20～15：10）
2. 学年 中学校 1 年生
3. 単元名 「理解力 2 判断して説明する」
4. 教材名 「詩三編」（「中学生の国語 一年」三省堂）
5. 目標
詩の内容を理解し、表現の特徴について自分の考えをもつ。
6. 生徒観 【略】
7. 本単元における言語活動
「詩三編」の内、好きな作品を一つ選び工夫して朗読する。（関連：言語活動例ア）
8. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①表現の特徴を捉え、その工夫や効果について、他者の意見を交えながら、自分の考えをもとうとしている。	①詩を読んで、自分が考えたこと・気づいたことを文章で説明している。 ②詩を朗読するために、詩の内容や表現の特徴を捉えている。	①詩に用いられている表現の技法、工夫について理解し、朗読にいかしている。

9. 単元の指導と評価の計画（全 3 時間）

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○詩を朗読し、詩に描かれた内容をつかむ。 ○詩を読んで考えたこと、感じたことをワークシートに記入する。 ○次時で詩を一つ選び、その詩の朗読の練習をすることを伝える。	[読む能力]①	ワークシート 活動の観察
2	○詩を一つ選び、自分の抱いたイメージを効果的に伝える朗読の仕方を考える。 ○小グループで互いの朗読を聞き合い、それぞれの朗読の工夫について意見・感想を交流する。 ○交流で得られた他者からの意見、自分の感想をまとめる。	[読む能力]② [言語についての知識・理解・技能]① [国語への関心・意欲・態度]①	ワークシート 活動の観察
3 (本時)	○前時に見直した自分の朗読の仕方の工夫をふまえ、自分の朗読の工夫や効果について考える。 ○朗読の練習をして、班で交流を行う。 ○本時の学習を振り返る。	[読む能力]② [国語への関心・意欲・態度]①	ワークシート 活動の観察

10. 本時の目標

詩を読んで感じたことや気づいたことを伝えるために、朗読でどのような工夫ができるかについて考える。

11. 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価場面
導入 (5分)	前時のワークシートを振り返る。	本時の目標を提示する。	
展開① (10分)	○前時に見直した自分の朗読の仕方の工夫をふまえ、自分の朗読の工夫や効果について改めて考え、ワークシートに記入する。	- 前時の交流でまとめたことを生かし、イメージがより伝わるような朗読の工夫を考えさせる。 - ワークシートへの記入が困難な生徒には、前時にどのような活動をしたのかを考えさせる。	評価場面① * 詳細は「12. 本時の評価場面」を参照
展開② (30分)	○班で、朗読をし、お互いに聞き合う。 ○他の生徒の朗読の工夫を捉えられたか、また自分の工夫を表現できたかをワークシートに記入する。 ○班で交流したことを代表者が発表する。	- 班の形にする前に、司会・発表者・朗読順を決めるように指示する。 - 朗読を行う際は、自分がどのような点を工夫して読むかを<u>伝えず</u>に読むように指示する。 - 前時に交流した内容をもとに改めて考えたことを、生活班で交流出来ているかを確認する。 - 他の生徒の意見を聞き取り、記入できているか確認する。 - ワークシートへの記入が困難な生徒には、班の中で交流をするように指示をする。 - 班の中で1番良いと思った朗読を選び発表する。その生徒が工夫した点も紹介するように指示をする。	評価場面② * 詳細は「12. 本時の評価場面」を参照
終末 (5分)	○詩の内容を理解し、表現の特徴について考えたことについてノートにまとめる。	次の点についてふりかえる。 ①詩の朗読を通して自分の工夫を伝えることができたか。 ②朗読の交流をして感じたこと・考えたこと。	

12. 本時の評価場面

評価場面	評価規準 (おおむね満足)	十分満足できる (A) と 判断するポイント	おおむね満足できる (B) と判断するポイ ント	努力を要する生徒 (C) への手立て
①前時に見直し た自分の朗読の 仕方の工夫をふ まえ、自分の朗 読の工夫や効果 について考え、 ワークシートに 記入する。	【読む能力②】 詩を朗読するために、 詩の内容や表現の特徴 を捉えたことを、自分 の考えとしてもつこと ができている	<ワークシート> ・前時の交流をもとに、 自分の朗読の工夫・効果 について他者と比較し、 新たな考えをもってい る。	<ワークシート> ・前時の交流をもと に、自分の朗読の工 夫・効果について確 認できている。	・前時に学習したこと を振り返り、そのこと について文章を書く ように指示する。
②班で朗読の練 習をし、感想や 改善点などを述 べ合い、ワーク シートに記入す る。	【関心・意欲・態度①】 詩の内容を表現するた めに、どのように朗読 すればよいかについ て、他者の意見を参考 にしながら改善しよう としている。	<活動の観察・ ワークシート> ・班の中での意見の交流 の際に、率先して交流 を図っている。 ・他の生徒が工夫した点 をもとに、自分の考え を発展させることがで きている。	<活動の観察・ ワークシート> ・班の中で意見の交流 ができている。 ・他の生徒が工夫した 点について捉えてい る。また、それにつ いて自分の考えを持 てている。	・意見の交流の際、他 の生徒の意見を聞く 姿勢を整えさせる。 ・他の生徒が工夫した 点を書きとめるよう に指示する。

評価場面	評価規準 (おおむね満足)	具体的な事例
①前時に見直し た自分の朗読の仕 方の工夫をふま え、自分の朗読の 工夫や効果につ いて考え、ワー クシートに記入 する。	【読む能力②】 詩を朗読するために、詩の 内容や表現の特徴を捉えたこ とを、自分の考えとしてもつこ とができている。	【読む能力②】の評価事例 ○おおむね満足できる (B) と判断するポイント <ワークシートによる> ・前時の交流をもとに、自分の朗読の工夫・効果について確認 できている。 ○十分満足できる (A) と判断するポイント <ワークシートによる> ・前時の交流をもとに、自分の朗読の工夫・効果について他者 と比較し、新たな考えをもっている。 ○努力を要する生徒 (C) への手立て ・前時に学習したことを振り返り、そのことについて文章を書 くように指示する。
②生活班で朗読の練習を し、交流をし、ワーク シートに交流した内容を 記入する。	【関心・意欲・態度①】 朗読の工夫や効果について、 他者の意見を交えながら自分 の考えをもとうとしている。	【関心・意欲・態度①】の評価事例 ○おおむね満足できる (B) と判断するポイント <班での交流・ワークシートによる> ・班の中で意見の交流ができている。 ・他の生徒が工夫した点について捉えている。 また、それについて自分の考えを持てている。 ○十分満足できる (A) と判断するポイント ・班の中での意見の交流の際に、率先して交流を図っている。 ・他の生徒が工夫した点をもとに、自分の考えを発展させるこ とができている。 ○努力を要する生徒 (C) への手立て ・意見の交流の際、他の生徒の意見を聞く姿勢を整えさせる。 ・他の生徒が工夫した点を書きとめるように指示する。

参考資料

詩三編（夕焼け・いるか・雨ニモマケズ） ワークシート1

◆本時の目標
一年（ ）組（ ）番 名前（ ）

三編の詩の内容や表現について、それぞれ感じたこと・気づいたことを
まとめよう。

雨ニモマケズ					いるか					夕焼け					
															内容について
															表現について

◆詩の中で意味のわからない語句を書き出そう

◆自分が朗読する詩を一編選ぼう
私が朗読する詩は

です。

参考資料

詩三編（夕焼け・いるか・雨ニモマケズ） ワークシート2

4

朗読を交流しよう

【流れ】

①選んだ詩、その詩のイメージ、朗読のポイントの説明する

*例「私が選んだ詩は・・・で、・・・というイメージを持っています。朗読のポイントは・・・というところです。」

②朗読する。（聞く人は相手を見て、最後までしっかりと聞こう！）

③お互いの朗読が終わったら、自分のプリントを相手にわたし、一言コメントを書いてもらう。

◆一言コメント欄

○自分が参考にしたと思ったよいところ

○こういうふうにするのもっとよくなると思ったところ

などをコメントできるといいね。

◆本時の目標
一年（ ）組（ ）番 名前（ ）

詩の内容や表現の特徴が聞き手に伝わるような朗読の仕方の工夫を考えよう。

1 自分が選んだ詩

【略（あらかじめ印刷してある）】

2 選んだ詩のイメージを書こう

3 自分のイメージを伝えるために朗読で工夫するポイントを考えよう。また「1」の詩の本文にも、工夫するところやポイントをメモで書きいれよう。

○工夫するポイント

○イメージがより伝わる朗読の工夫

◆朗読の交流を通して感じたことや考えたことを書こう。

参考資料

詩三編（夕焼け・いるか・雨ニモマケズ） ワークシート3

一年（ ）組（ ）番 名前（ ）

◆本時の目標

詩を読んで感じたことや気づいたことを伝えるために、朗読をするときにどのような工夫ができたかをふりかえろう。

1 前回の交流をもとに、自分の朗読の工夫をもう一度ふろかえろ。（ワークシート2の2に戻ろう）

2 生活班で朗読を交流しよう。

【流れ】

①司会者・発表者・朗読する順番を決める。

②順番が来たら、詩の題名を述べ、工夫した点については説明せずに朗読する。

③朗読後、「自分が工夫したポイントはどこでしょう。」とたずね、交流する。「朗読からこんなイメージが伝わってきた」などが交流できればなおよい。

④交流後、朗読した人が工夫したポイントを説明する。聞いた人は聞き取った内容をプリントに記入する。

◆朗読の記録

1 （ ）さん

・選んだ詩「

」

・工夫したポイント

--

2 （ ）さん

・選んだ詩「

」

・工夫したポイント

--

3 （ ）さん

・選んだ詩「

」

・工夫したポイント

--

4 （ ）さん

・選んだ詩「

」

・工夫したポイント

--

◆詩の朗読を通して、自分の工夫を伝えることができたか、また朗読の交流から感じたこと、考えたことを書こう。

--	--	--	--	--